

# ふれあい



特集：原動力は皆さんの「声」  
JAみちのく村山地区別座談会開催

 JAみちのく村山

こちらにもアクセス!!

ホームページ

Facebook



JAみちのく村山「ふれあい」No.265 2017.4.10発行  
編集・発行/みちのく村山農業協同組合 山形県村山市楯岡北町一丁目1番1号 TEL0237-55-6311(代) FAX0237-55-5825  
JAみちのく村山ホームページ http://www.mitnoku.or.jp E-mail info@mitnoku.or.jp  
※印刷・製本/街印刷文化堂 再生紙を使用しています。



## なつかしの伝統料理 しょっぺんレンピ

### ビター&ワイルドな春の味 ふきのとう味噌

- 材料**
- ふきのとう……………100g
  - 赤味噌……………72g(大さじ4)
  - 上白糖…3~6g(小さじ1~2)
  - みりん……………36g(大さじ2)
- 作り方**
- ①赤味噌、上白糖、みりんをよく混ぜておく。
  - ②沸騰した湯にふきのとうをくぐらせる。  
(ふきのとうが開き、花が少し見える程度まで)
  - ③②をザルで水洗いし、水気を切ってからみじん切りにする。
  - ④①と③を混ぜて、水分がとぶまでじっくり炒めてできあがり。

#### ワンポイントアドバイス

ふきのとうは新鮮なものを使いましょう。1日以上おいたものは、ゆでる時にしっかり火を通します。炒める時は油を使わず、できればテフロン加工のフライパンで。甘さが足りない場合は、みりんを5g、上白糖を3gほど加えてみて下さい。ご飯のおかずとして知られていますが、パスタや豆腐とも相性がいいですよ。

※「しょっぺん」とは、山形県の方言で「昔」という意味です。

## 家の光 5月号の主な内容

〈特集〉  
学校給食の今  
明治時代に始まった日本の学校給食。その歴史と役割を考えます。JAや地元農家の協力でできた地産地消型の給食、地域の伝統食を取り入れた給食などを取り上げながら、昔ながらの給食レシピも紹介。

- 「別冊付録」のごとき、すばやく対応できる！  
暮らしの救急(99)便利帳
- JAさがえ西村山女性部  
海野澄子さん  
「志村源太郎記念賞」受賞！  
広島県で開催された「第59回全国家の光大会」。JAさがえ西村山女性部朝日支部の海野澄子さんが「記事活用部」の発表会で最優秀に輝きました。発表内容と海野さんの活動を紹介します。
- 「図解・点検！  
どうなってるの？」農協改革  
内閣総理大臣の諮問機関である規制改革推進会議から、急進的な改革案が提案された「農協改革」。政府が進めようとする改革の動きや、JAグループによる自己改革の取り組みを分かりやすく図解します。

お問い合わせは下記へどうぞ！購読は1冊(ひと月分)から可能です。  
◆村山経済事業所 0237-52-4160 ◆尾花沢経済事業所 0237-22-1310 ◆大石田経済事業所 0237-35-3133

# 種まく人々



## 大石田山菜部会

部会員数8名。人気商品「春こい菜」をメインに、ウルイ150<sup>円</sup>、タラノメ30<sup>円</sup>を栽培。写真は1月の目揃え会で、箱詰めされた「春こい菜」とともに。



部会長  
大石田町田沢  
いとう せいし  
伊藤 清司 さん(71歳)

ウルイの他、サクランボと水稻を栽培。かつては、冬でも収入を得られるようにと、ナメコ、ウド、タラノメ、コシアブラを作っていたことも。

◀部会の歴史は？▶  
大石田山菜部会は30年以上の歴史があります。かつては部会ではなく「研究会」という名称で、行者ニンニクやタラノメなどを作っていたこともあります。ただ、例えばタラノメは作業が大変ですし、資材の費用もかかります。そうして、割に合わないと思っただけで、作らなくなり、現在部会でも出荷しているのはウルイがほとんどです。ずっと前は緑色の一般的なウルイを栽培していましたが、今作っているのは、色の黄色い独自の品物「春こい菜」。これは量さえあれば売れます！

◀最後にひまわり▶  
「いい品質と、いい評価を保つのは大変ですね。また「春こい菜」を作るにはハウスも必要ですし、大石田は雪が多いから管理も大変です。若い人も少ないので、高齢化対策も課題です。それに、山菜はひとつの種類が売れても、すぐに競合しやすいので難しい点もあります。そんな中でも大切なのは、部会員同士も出向くなど、関係者同士の「顔の見えるつながり」だと思います。

NO. 265  
2017. 4

ふれあい

もくじ

- すくすくふれあい家族 ..... 3
- 種まく人々 ..... 2
- ／理事会だより ..... 2
- 特集  
原動力は皆さんの「声」  
JAみちのく村山  
地区別座談会開催 ..... 4
- ..... 4
- ニユース展望台 ..... 6
- あつまれ！ふれあい広場 ..... 11
- みちのくほいす  
／クロスワードパズル ..... 12
- お知らせ掲示板 ..... 14
- つよこぼろまんじゅう ..... 16

## すくすくふれあい家族



村山市名取  
原田 貞子 さん (87歳)  
公一 さん (64歳)  
良子 さん (62歳)  
大介 さん (36歳)  
早百合 さん (39歳)  
大靖 くん (3歳)  
詩凜 ちゃん (1歳)

いつもお父さんの農作業を手伝う気まんまんの大靖くん。誕生日にももらったツナギを着れば、気分は親子で専業農家です。「でも、結局目が離せなくて。手伝いと言いつつじゃまされてます（笑）」とお父さん。妹の詩凜ちゃんは、今でもちょっと人見知り。でもすぐに馴染んじゅう切り替えの早さで、写真撮影では笑顔でバッチリです。2人そろって新鮮なフルーツをよく食べ、特にリンゴは大好物。まだ小さい詩凜ちゃんは、薄く切ってもらって味わいます。時にはきょうだい一緒に遊び、時にはパパとママの取り合いになったり…。元気で仲良しの2人のおかげで、原田さん一家は明るさとにぎやかさで満ちています。

## 理事会だより

第13回理事会が3月24日開催。  
主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号 平成29年度内部監査計画の設定について
  - 第2号 平成29年度事業計画の設定について
  - 第3号 平成29年度借入金の最高限度額の承認について
  - 第4号 平成28年度固定資産(償却資産)の除却について
  - 第5号 出資口数の減口承認について
  - 第6号 諸規程の一部改定について
  - 第7号 平成29年度余裕金の運用方針及び運用方法について
  - 第8号 1組合員に対する信用の供与等の最高限度額及び組合員に対する貸付金利率の最高限度について
  - 第9号 組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額及び組合員以外の者に対する貸付金利率の最高限度について
  - 第10号 同一人に対する信用の供与等の最高限度について  
追加 平成28年度山形県常例検査結果報告について
- ・JA全国監査機構期末監査I実施(棚卸立会・実査)について  
・平成28年度決算監事監査実施要領について  
・平成29年度監事監査計画について  
・内部監査(個人情報保護・貯金者データ整備)について  
・内部監査(自主検査・業務全般)について  
・内部監査(指摘事項検証)について  
・運営委員会・地区別座談会の結果と出席状況について  
・平成28年度コンプライアンス研修等実施結果について  
・平成29年度就業時間及び各部署の営業体制について  
・第7次広域営農振興計画(平成29年度修正計画)について  
・雪害支援対策について  
・平成29年度 企画旅行について  
・利益相反取引に関する報告書について  
・大口貸出金報告について  
・直売所におけるJAカード決済5%割引の実施について  
・(株)みちのくサービスの事業計画書について
- 【報告事項】  
・経過報告および行事予定について  
・主要勘定・安全性の指標について



原動力は皆さんの「声」

**JAみちのく村山 地区別座談会開催**

▲尾花沢地区(3月2日)

平成28年度の地区別座談会が、管内3地区で開催されました。組合員の意見や要望などの「声」を、JAの事業運営に反映させるために毎年行われています。各会場あわせて約190人が出席し、質疑応答の場面ではさまざまな意見が寄せられました。今回はその内容の一部をご紹介します。

同士の横の連携を取りながら、速やかな情報提供や経営相談対応を行ってほしい。

**Q** 年々、営農指導員の数が減っているのではないかと。職員は労働時間にもばらつきがあるように感じる。内部の人事体制に配慮してほしい。

**A** 必ずしも、営農指導員の資格認証者すべてが、営農指導に

**Q** 地域に若い生産者が少ない。今後、農業人口の減少、就業人口の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加、出荷物の量の減少は明らかだ。米・野菜・果樹の取り扱いについて、10年後を見ずえた取り組みをしてほしい。

**A** 全て、非常に大きな問題。担い手育成については行政とのタイアップが必要で、現在、農家支援プログラムも立ち上げている。また、例えば異業種と連携して、農作業をIT管理し、作業ミスの低減や経費削減をはかり効率的な生産を行うというやり方なども考えている。今後も、大きなビジョンをもって進めていきたいので、ご助言をいただきたい。

**Q** 農家が安心して生活していくために、組合員の営農と暮らしをどう支援していくのか。農協離れがこれ以上進まないような施策してほしい。

**A** 3カ年計画で、「農家対策室」を提案する。組合員情報をJA内で共有するシステムを作り、部署



▲大石田地区(3月2日)

**Q** 転作で、飼料用米をもっと拡大していくべきではないか。

**A** 地域再生協議会とも連携しながら、拡大の話を進めていきたい。畜産農家に限らず、県内外の各企業に対しても販売ルートの拡大を図っている。

**Q** 農産物を海外でも販売すれば、農家の生産意欲や所得の向上につながるのではないかと。

**A** 行政と一体となりながら、農産物の提供を広く進めていきたい。

**Q** 畜産で、子牛導入の負担が大きい。手数料を下げられないか。借入金利も配慮してほしい。

**A** 販売手数料の引き下げは難しい。金利については、飼料購買にかかる還元なども含めて、信用部と畜産部とで検討したい。

**Q** 近隣のJAで、女性部員の金利上乗せサービスが行われていると聞いた。JAみちのく村山でも企画してほしい。

**A** 前向きに検討したい。JAグリーンでは、ポイントを換金

**Q** 平成30年から米の直接支払交付金が廃止されるが、新しい施策はあるのか。

**A** 村山地域再生協議会では、米の生産数量に見合った作付を推進する予定。また、米政策に関する国の予算は、約700億円以上あると言われている。この予算を米政策に反映させるよう、JAとしても国へ要望・陳情していく。これからも、農家組合員が安心して米作りに専念できるように、国や行政に働きかけていきたい。

携わっているわけではない。また、繁忙期によって時間外勤務の偏りもあり、苦慮しているのが実情。平成29年度からは新たな人事制度を運用し、改善していきたい。

**Q** 他店のチラシを見ると、安価な生産資材が取り扱われている。

**A** 他店の品物については、価格の調査と比較を行っている。同成分の肥料や農薬で、決して他店よりも高いものはない。ただ、肥料は微妙に成分が異なるものがあり、単純に比較できないところがある。当JAでは生産資材の値下げと同時に、生産者への還元についても検討していきたい。1、2年後には、全農改革の結果も資材価格に表れてくるだろう。

**Q** 最近、「はえぬき」が食味ランキングで特AからAになったり、「雪若丸」の平成30年度からの作付の奨励が決まったりするなどの動きがあった。米の作付計画を今後どのように進めていくのか。現在、「つや姫」は認定農家しか作れない状況。また、「雪若丸」は生産者団体での登録制を導入し、生産者を募集すると報道されているが。

**A** 「山形95号」は、米卸や実需者から多くの供給を要望されている。卸販売先とも高価格での取引で話が進んでおり、今後「はえぬき」とあわせて作付拡大をはかる予定。「雪若丸」は県から詳細な募集要項をいただいているが、今後、組合員の皆様にも情報をおたきしていきたい。「つや姫」は特例での面積認定要件もあるので、作付を希望する場合は、営農センター事務所まで問い合わせさせていただきたい。

**Q** 今年度、中山間地の一部地域では、カメムシによる規格外の発生が多かった。カメムシ対応は今後どうするのか。

**A** 数年前のカメムシ被害を受けて、現在のようなラジコンヘリや空散による防除体制となった。その成果も出ている。今後防除を徹底し、薬剤の選定などについて普及課と

**Q** 大石田の低温倉庫建設は検討しているのか。

**A** 平成30年からの3カ年計画で優先的に検討したい。国の補助事業を踏まえながら、町と連携して大石田地区の役員や部会と話を進める。



▲村山地区(3月6日)

スイカ栽培  
課題はセンチュウ対策

3月5日、尾花沢市で「日本の夏すいか研究大会2017」が開かれ、生産者など約200人が出席。スイカ栽培の情報提供などが行われ、今年には石原ハイオサイエンス株式会社などがセンチュウ被害について講演しました。また14日には、村山すいか研究会も村山市で講習会を開き、北村山農業技術普及課がセンチュウ対策について講義しました。



▲会場のサルナートは聴講者でいっぱい(5日、尾花沢市) ▲今年のスイカ栽培をにらみ、講義に臨む(14日、村山市)

初出荷に向けて生育チェック

3月17日、村山さくらんぼ加温ハウス研究会は園地巡回を実施しました。生産者とJA職員など約30人が一日かけて加温ハウスさくらんぼの生育状況を確認。目前に迫る今年の初出荷に向け、スケジュールの打ち合わせも行いました。



▲色付きは？大きさは？？ハウス内で樹を見上げる

さらに広範な農用地利用をめざす

大石田町横山地区で農用地利用改善組合が設立。3月16日に設立総代会が開かれました。同地区内では6つの組合(支部)がすでに設立を果たしており、農地の貸付や農作業依頼をより広範にスムーズに行うため、このたび一本化したもの。こうした「一本化」は同町では初。今後、同組合の活動は、農用地を効率的・総合的に活用するための貴重な指針になりそうです。



▲総代会に参加した皆さん。横山本郷・里・来迎寺・田沢・小菅・新山寺の「担い手」です



▲作業効率や、実際のスイカの流れを隅々まで検査

稼働は目前、新施設を確認

西部すいか選果施設(大石田町)の、再編整備に伴う工事の完成検査が3月21日に行われました。折原敬一専務と全農職員、同町職員などが、施工会社の案内で施設内を確認。今夏から稼働する当施設では小玉スイカも取り扱われることから、作業の流れなどをシミュレーションしました。

完成！地域農業の「ビッグ」な拠点

3月26日、村山市稲下地区で、農事組合法人「天穂(てんぼ)の里」のミニライスセンターの落成式が開かれました。同法人は、農地の集約や作業の効率化を目的として平成27年に設立。地域の拠点となる施設が完成です。同法人の井澤孝夫代表理事は「名前はミニライスセンターでも、私たちがこつては、ビッグな施設。大切に利用し、地域の農業を守りたい」と話しました。



▲神事も執り行われました。左のプリントはフレコン計量ユニット

連続入賞の快挙！  
大石田米生産部会、

村山市の鈴木さん



▲吉村美米子知事を中心に記念撮影。後列左端が伊藤部会長(いずれも14日、山形市で)

3月14日、山形市で「オールやまがた米づくり日本一運動食味コンクール」の表彰式が行われました。大石田町の大石田米生産部会が「つや姫の部」優良賞を受賞し、伊藤強部会長が表彰状を受け取りました。同部会はこのコンクールにおいて、数年来「はえぬぎの部」などで毎年入賞しており、「つや姫の部」での受賞は3年ぶり。あわせ

で行われた「平成29年産つや姫生産者認定証交付式」では、山形つや姫マスタアの土屋隆志さん(大石田町)が決意表明を行いました。また山形県「啓翁桜」品評会(2月1日開催)で、こちらも2年連続の入賞を果たした鈴木瑞人さん(村山市)も、3月23日に高谷尚市組合長を訪問。受賞を報告しました。

折原専務が  
「農業協同組合功労賞」受賞



▲表彰式は東京都内の会場で行われました

3月10日に行われた、第63回全国農業協同組合通常総会。この中で、JAの発展に貢献したとして、当JAの折原敬一代表理事専務が功労者表彰を受けました。

菅野理事・三浦理事が  
「役員功労賞」受賞



▲賞状を手にする菅野理事(右)と三浦理事(左)

当JAの菅野直也理事(福原地区)と三浦康彦理事(戸沢地区)の2名が、役員功労賞を受賞しました。JAの役員として、山形県の農業やJAの発展に寄与したことを称えての受賞です。



▲賞状を手にする伊藤部会長(右)と、つや姫生産者認定証を手にする土屋さん(左)



▲啓翁桜品評会で入賞した鈴木さん(右)。高谷組合長と撮影



3月11日  
第22回大石田地区女性部総会  
研修としてレインボータンゴを学びました



3月4日  
村山地区女性部  
第27回女性部まつり及び平成28年度活動報告会  
地区ごとに、趣向を凝らした踊りや芸が披露されました



3月12日  
尾花沢地区女性部活動報告会  
着物を展示し、貸衣裳事業をPR



▲24日の幹部研修会で発表する斉藤さん

最後は、尾花沢地区女性部の斉藤とよ子さんが体験発表。「仲間がいたから喜びも大きく、何でも乗りこえられる。これからも女性部活動を継続したい」と、JA合併前から続けてきた女性部活動について総括。斉藤さんのこの体験発表は、3月24日に開かれた県JA女性組織協議会の幹部研修会でも行われました。

斉藤さんが体験発表

から講師を招いて、レインボータンゴと、口腔機能を向上させて健康寿命を伸ばす「歯（し）あわせ体操」を学習。また、会場では部員による創作物が展示され、部員たちは材料や作り方について情報交換していました。



▲関智美部長から進呈。この活動も3年目になります(28日)

3月も各地区でイベント・活動

忙しい年度末でも女性部は元気。3月12日は大石田町岩ヶ袋地区で、女性部員によるつるし雑展示会が開かれました。また19日には尾花沢地区貸衣裳室で、初の試みとなるウェディングドレスの試着・撮影会が開催。28日には大石田地区女性部が、ボトルキャップ回収運動を行っている大石田中学校生徒会に、独自で集めたキャップ4袋分を進呈しました。



▲華やかな着物姿を撮影(19日)



▲つるし雑の作り方や由来を来場者に説明(12日)



▲あいさつする高橋和子女性部長

女性の活力を集結！

みちのく村山女性部 第22回通常総代会開催

課題を乗り越え 地域を元気に

JAみちのく村山女性部は3月18日、第22回通常総代会を開催しました。女性部員やJA役員など、あわせて約80人が出席。平成28年度の事業報告と、次年度の事業計画など5議案を満場一致で承認しました。

高橋和子部長は、初めに「部員の減少や高齢化など、課題もあるが、若い人にも入部を進め、女性ならではの活力で地域を元気にしていこう。そして安全安心の農業を守っていかう」とあいさつ。来賓として出席した高谷尚市組合長は「女性のJA事業への参画をすすめて、これからもたくさん意見を述べてもらいたい。地域は年々疲弊している。活性化のためには女性の力が重要だ」と述べました。役員改選も行われました。

研修でますます健康に

研修では、JA山形中央会



▲JA女性組織綱領を唱和



▲役員改選も。右から高橋和子部長(村山地区)、関智美副部長(大石田地区)、佐藤優子副部長(尾花沢地区)。



▲お口の健康が長生きの秘訣「歯(し)あわせ体操」



▲5議案について慎重審議



▲創作品を通して部員同士で交流

**あれこれ ～遊・楽 Time～**



私、スノーボードを楽しんでいます！

雪が降り出せば、いよいよ西尾さんとその愛用のボードの出番。「スノボは、自然を相手に最高の時間を過ごせるスポーツ。少し体を痛めても、テーピングしてでもやります」と話します。雲の上を滑るような爽快感や、日常を突き抜けるようなスリル——。どれも、怖さを乗り越えて挑戦した先でこそ味わえる魅力です。「最近スノボ人口も減っていますが、大会などで活躍中の若い後輩もいますので、もっと多くの人にスノボの面白さが伝わるといいですね。そして自分が楽しみつつ、スキー場全体の盛り上がりにつながればと思います」。

大石田町駅前通り  
にし おみつまさ  
西尾光正さん(30歳)

**あつまれ!**  
**ふれあい広場**

**あらえのめんごっこ**



尾花沢市若葉町  
おおるい あおい  
大類 蒼生くん(1歳2カ月)

ゆうや かすみ  
祐矢さん・香寿美さんの長男の蒼生くん。病気知らずの健康な男の子です。生えた歯はまだ少しですが、食欲は旺盛。大根にかぼちゃ、魚に納豆と何でもいけます。「歯ぐきで一生懸命噛んでますね。おかゆは卒業しましたがお米は大好きみたい。料理のし甲斐があります」とお母さん。飲み物も歯ブラシもまだ赤ちゃん用ですが、その好奇心は、さすが男の子。最近階段を上ってみたりお掃除の手伝いをしてみたり…と、いろんなことに果敢にチャレンジ中です！

◆お母さんからお子さんへ  
「蒼生は4月から保育園。元気に育って、友だちもいっぱい作ってね」



▲編集メンバーを代表し、清藤前組合長が出版の喜びを話す

**「尾花沢牛」第二級の歴史資料が完成**

尾花沢牛の歴史をまとめた『尾花沢市牛ものがたり』がこのたび発行。当JA関係者などからなる編集委員会が、資料収集などに3年間を費やして、このたびの出版となりました。3月25日には発行記念祝賀会を開催。編集メンバーの一人である、当JA前組合長の清藤尚一氏は執筆の苦労について「古文書解読の必要に迫られる場面もあつた。尾花沢産牛には他ブランドにも負けない伝統がある。さらなる畜産振興に生かしてほしい」と話しました。



▲木村里美さんとのデュエットも



▲厳しいまなざし…。狙うは高得点！

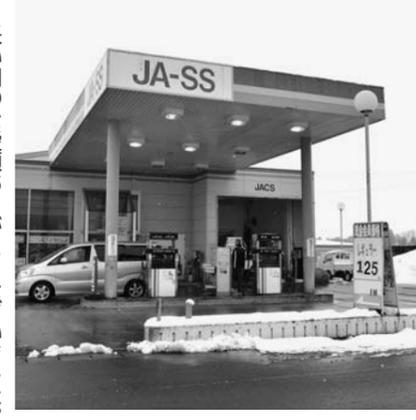
**輪投げ大会で白熱**

橋岡地区年金友の会は3月7日に、また大倉地区年金友の会は14日に、それぞれ輪投げ大会を開きました。会員たちは複数のチームに分かれてプレー。慎重に的を狙って輪を投げていました。点数を競い合いつつも、楽しく親睦を深めていました。

**つどいで楽しむ友の会**

大石田支店は3月9日と14日、大石田営農センターで「年金受給者友の会のつどい」を開催しました。2日間合わせて、支店管内の年金受給者約200人が参加。今年、米寿と喜寿を迎える会員に賀詞も伝達。79名の会員が対象となりました。参加者は飲み交わしながら、年に一度の「つどい」を楽しみました。

▶長い間のご愛顧ありがとうございました。今後は村山中央・暮点給油所などをぜひご利用ください。



（株）みちのくサトウキビ大高根給油所は3月26日に営業を終了し、29年の歴史に幕を閉じました。老朽化などの事情から、このたび閉店が決まりました。同給油所。最終営業日には、最後までご利用いただいた利用者の方々が最後の給油などに訪れました。

**惜しまれつつ最後の営業**



▲牛肉販売コーナーはすぐ空っぽに(16日、おぼなざわ店で)

**感謝を込めて大売り出し**

JAグリーン全店舗で、3月16～18日の3日間、大売り出しが行われました。16日にはみちのく村山産の黒毛和牛牛肉を、また17日には除草剤を、そして18日には多数の商品をお得価格で販売しました。たておか・ごてん・おおいだ店はオープン10周年を記念しての「大創業祭」。多くの買い物客が訪れました。



# 「あなたの昭和の思い出」

## テーマ大賞

子供の頃、暮点橋の近くの畑で、操縦士が見えるくらいに低空飛行で飛行機が近付いてきた時のことは、今になっても忘れることができない78歳のじじいです！  
(村山市 村山のおやじさん)

☆米軍がいた頃かな？暮点橋も新しくなる前ですね。

昭和19年、学徒動員で行った横須賀海軍工廠で盲腸になる人が多発。私も我慢したため、盲腸が破れて入院3週間。手術の翌日に空襲があり、防空壕に担架で運ばれ、痛かったこと。  
(尾花沢市88歳)

結婚して大きなお腹の私。産まれてくる子は昭和生まれじゃない…と思った1月7日は忘れられません。  
(村山市とーまのばあさん)

救急袋を背負って登校してました。休み時間に袋から豆煎りを出して廊下で食べました。先生に怒鳴られ後悔はしたものの、空腹は耐えられなかったでしょう。  
(尾花沢市83歳農業者)

☆戦時中でしたよ。辛い思い出ですね。

昭和60年生まれの私。結婚式で幼い頃の写が必要になり、父が出てくれたのが古い年賀状。写っている両親の髪型や私の衣服、写真の質感…まさに「昭和」。家族写真を残していた父にも感謝です。  
(尾花沢市 ミユキチさん)

昭和は私の人生そのもの。高校を卒業し、横浜に就職し、山形に帰って村山に嫁ぎ、あつという間に駆け抜けました。  
(村山市 オーバーさん)

東京オリンピックです。当時、中学生でした。世界中から人が集い、競い合うあの高揚感忘れられません。初め

戦後、村山市のある地域は米軍の射撃場となり「民家の上を弾道が飛んでいた」という。当時幼少期を過ごした方は、最後の語り部として後生に語り継いでいる。単なる思い出として聞き流してはいけない。  
(村山市 春鼻水期さん)

昭和の先生は怖かった。それでも先生と遊ぶのは楽しかった。思い出す顔は怒った顔より笑ってる顔。今じゃ体罰やパワハラといわれることも心が通っているかどうか？かも。  
(村山市 ぶーにゃんさん)

「空襲警報発令!!」防空壕に向かったら、家具類がいつぱいで入る隙間もなかった。戦時中の子供の頃を思い出します。  
(村山市83歳農業者)

戦後生まれですが、とにかくみんな貧しい大変な時代でした。それでも何か、時間がまったりしているようで、三丁目の夕日などを見ていると本当に懐かし、目頭が熱くなります。  
(村山市 ユッキーさん)

昭和という「新御三家」。郷ひろみが好きでした。コンサートにも行きました。懐かしいです。  
(村山市 いのみさん)

「遊ぶ」。泥んこ遊び、メンコ、ブランコ、ビー玉、鬼ごっこ…。隣近所のお姉ちゃんには面倒を見てもらいました。季節保育所で、市長さんに抱かれて写真撮影したのも懐かしい思い出です。  
(尾花沢市 あんぽんたんむすめさん)

昭和の思い出といえば、学校給食の脱脂粉乳のミルク。なかなか飲めませんでした。ご飯は、大根の葉を刻み塩漬けにしたものを飯にまぜる大根飯。あれから70年、今は天国のような時代です。  
(村山市 ヨッチャん)

昭和生まれです。職場の子が平成生まれと聞くと歳の差を感じます。あと4年遅く生

裕福ではなかった我が家。中学生の時、当時3万円するラジカセを、父母が苦勞して買ってくれたのを思い出します。今でも、外で農作業をする時に現役で使います。  
(村山市 ガンバレ!!モンテジー昇格さん)

昭和18年、川崎市でB29の攻撃を受け、防空壕から出た時、夜空が真っ赤に燃えていた。あれから70年になるが、あの夜は忘れられない。戦争のない平和な国であることを願う。  
(村山市88歳農業者)

昭和30年代、幼稚園児の私が父に連れられ大石田から東京へ行った時は、各駅停車の蒸気機関車で夕方出発、上野駅は翌朝に到着。今、新幹線で約3時間半。隔世の感があります。  
(尾花沢市 おたまじゃくしさん)

ある程度の歳になったら子供に仕事を譲り、趣味で生活するつもりでした。でも時代が変わり、この歳になっても自力で農業をやらなければならなくなりました。金もかかるし楽しいやない。  
(尾花沢市 わびしいケイチちゃん)

またたかったなあ…笑  
(尾花沢市31歳会社員)

米沢に住んでいます。家から「ふれあい」が送られてきました。懐かし、応募しました。  
(米沢市21歳学生)

◆皆さんのハガキありがとうございました。◆  
◆次回のテーマは…「支店だより」はいかがですか?です。◆  
当JAの4支店で、年4回発行している「支店だより」。今年度も職員ががんばって作っています。ご感想をお寄せ下さい。

**JAみちのく村山 シンボルマークをさがせ!**  
どこかのページに「みちのく村山」シンボルマークが隠れています!  
◎答えは次号!  
※先月号の答えは2ページの右上でした。

## パズルを解いて、さあ応募!

図書カードが当たります!  
みちのくぼいす「テーマ大賞」……1名  
クロスワードパズル正解者の中から……5名

- ◆応募のきまり
・応募は1人につき1回有効です。
・紙面の都合により「みちのくぼいす」に掲載されないこともあります。
・「みちのくぼいす」に掲載されない場合も、パズルは抽選対象になります。
・発表は『ふれあい』5月号で行います。あらかじめご了承ください。
- ◆応募先
・ハガキ…〔記入例〕をご参照ください。
・電子メール…fureai@mitinoku.or.jp
・FAX…0237-55-5825
- ◆応募締め切り 4月24日(月)
※ 当日消印有効

【ハガキ記入例】  
52 995-0011 村山市橋岡北町 一丁目1番1号  
JAみちのく村山 広報係 行  
①パズルの答え  
②「みちのくぼいす」テーマなどに関する身近な話題、ご感想・ご感想  
③郵便番号・住所  
④氏名・ペンネーム  
⑤年齢  
⑥職業  
⑦電話番号  
ペンネームOKです!希望の方は、本名・ペンネーム両方も記入して下さい

## 3月号の答え 「ランドセル」

1	ホ	5	ル	12	イ	カ	チ			
		6	ヨ		13	ビ	15	キ	ツ	ド
2	チ	リ		11	ア	オ	ノ	リ		
	ヤ		9	マ	ン	キ		ア		
3	ク	レ	ナ	イ		14	ハ	シ		
	4	セ	イ	イ		10	バ	ー		
		キ		タ	カ	ラ	ブ	ネ		

パズル正解者の中から厳正な抽選の結果、下記の5名の方が当選しました。おめでとうございます。  
・でたらめチューズデーさん(村山市林崎)  
・びんちゃん(村山市富並)  
・ミユキチさん(尾花沢市北郷)  
・折原 珠貴さん(尾花沢市鶴巻田)  
・プリティママさん(大石田町海谷)

## タテのカギ

- 1 井戸などでくみ上げて使います
4 土を小高く盛り上げたもの
6 人がたくさん住んでいます
7 車に乗って出掛けます
9 孫悟空の乗り物です
11 中国の——に由来することわざは多い
12 まき割りや枝打ちに使う刃物
15 東南アジアの国。首都はクアラルンプール
18 人を怒らせることを「——に触れる」ともいいます
20 インドから伝わる心調整法
21 太陽や星がよく見える天候
22 台所ですることの一つ

## ヨコのカギ

- 1 端午の節句に食べます
2 映画の撮影時にカチンと鳴らします
3 人事——で所属部署が変わった
4 二つで1組のものを数えるときに使う言葉
5 初節句に——飾とこいのぼりを用意した
6 野球の走者のこと
10 家を留守にする際は忘れずに
13 袖振り合うも——の縁
14 チョウの仲間。カラス、アオスジといえ
16 ボルトやナットを回す工具
17 すし屋の符丁で茶のこと
19 布地を裁断した物

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

## クロスワードパズル

クロスワードを解いて、A～Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

1	6	9		14	18	21		
		A						
2				11		19		D
				10		15		
3	7				16		22	
		8			12		B	
4				13			20	
5						17		C

ニホンザル・イノシシ有害鳥獣捕獲実施に関わる周知について

村山市では本年度も、ニホンザル・イノシシの適正頭数を管理し、農作物被害を防止するため、村山市ニホンザル・イノシシ管理事業実施計画を策定。年間を通して、下記の通り捕獲を実施します。安全対策のため万全を期していますが、事故防止のためご注意ください。近隣園地・住民の方のご配慮もよろしくをお願いします。

◎ニホンザル

- ◆実施期間/平成29年4月上旬～翌年3月下旬まで
◆対象区域/楯岡地区・大倉地区・東根市荷渡床の入り・袖崎地区
◆駆除方法/法定銃器(空気銃・散弾銃等)・箱わな
◆駆除員/村山市猟友会

◎イノシシ

- ◆実施期間/平成29年4月上旬～翌年3月下旬まで
◆対象区域/葉山・戸沢・西郷・楯岡・大倉・袖崎・大高根の各地区、東根市荷渡床の入り
◆駆除方法/法定銃器・箱わな・くくりわな
◆駆除員/村山市猟友会

駆除員は「有害鳥獣捕獲従事者」と書かれた腕章、オレンジ色のベスト、または目立つ格好をしています。

◎お問い合わせ/村山市有害鳥獣対策協議会、JAみちのく村山(村山営農センター)

JA年金お受取りキャンペーン
おク 安心 便利
JA年金お受取りキャンペーン
平成29年 4月3日(月)
平成30年 3月30日(金)
●詳しくはJA窓口へ JAみちのく村山
楯岡支店 TEL 0237-55-2405 尾花沢支店 TEL 0237-22-0033
葉山支店 TEL 0237-56-3777 大石田支店 TEL 0237-35-3132
本店信用部 TEL 0237-55-0910

JAグリーンからのお知らせ

春の農作業を応援！特別セールを実施します

期間：4月27日(木)～29日(土)

JAグリーンは農家の頼もしい味方！上記の期間、全店舗で売り出しを行います。皆様のご来店をお待ちしています。

なお、4月1日(土)～4月30日(日)の営業時間は午前8時～午後6時半となっております。土・日・祝日も営業しております。

※JAグリーンたておかは17:30までの営業です。

大石田農産物直売所「産直つなぎ」春の営業スタート！



ご愛顧いただいております大石田農産物直売所「産直つなぎ」が、4月16日(日)から春の営業スタート！

4月16日(日)からの営業時間
午前9:30～午後5:30 ※定休日は毎週水曜日です

大石田町役場から、車で西へ1分！町の「ふるさと納税」の返礼品発送などで活躍中、リピーターも増加中の「産直つなぎ」。農家が手塩にかけて育てた旬の農産物を、ぜひご賞味下さい。

大型特殊・けん引の免許取得はこちらで！

このたび、JAみちのく村山ではマツキドライビングスクールと提携。組合員の方限定で、以下の特別価格で免許の取得ができます。

- 《対象車種》 《組合員特別価格》
・大型特殊自動車.....62,000円(税込)
・けん引自動車.....115,000円(税込)
・大型特殊自動車+けん引自動車.....175,000円(税込) ※これはお得！

お申し込み・お問い合わせは

- ◆村山経済事業所 0237-52-4160
◆尾花沢経済事業所 0237-22-1310
◆大石田経済事業所 0237-35-3133

平成30年度 JAみちのく村山職員募集要領

- 1. 募集職種/総合職
2. 採用予定人員/若干名
3. 応募資格
(1)大学、短大(農業大学校含む)の卒業者(平成30年3月卒業見込者含む)
(2)自宅から通勤可能な方
4. 応募方法
(1)応募書類
①自筆による受験願書兼履歴書(JAみちのく村山独自の様式を使用します。用紙についてはJAの本店に備えています。また、当JAのホームページよりダウンロードできます。
②学業成績証明書
③卒業または卒業見込証明書(成績証明書と同一証明の場合は省略可)
④写真2枚(1枚は履歴書に添付して下さい。もう1枚は受験票に添付用)最近3ヵ月以内に写した上半身 縦4cm×横3cm
⑤各種免許、資格を有する方は、その証明書の写し
(2)応募受付期間
平成29年4月17日(月)～5月16日(火)【必着】
(3)書類提出先
〒995-0011 山形県村山市楯岡北町一丁目1番1号 JAみちのく村山 管理部人事教育課 宛
※郵便で応募書類を提出するときは、封筒の表に「職員採用応募書類在中」と朱記して下さい。
5. 選考方法
(1)第1次試験
①試験日/平成29年6月1日(木)
②試験科目/総合適性検査(能力検査、性格検査)・小論文
③試験会場/山形市東古館123番地「協同の杜」JA研修所
※応募者多数の場合は、第1次試験の前に書類選考を行う場合があります。
(2)第2次試験/第1次試験の結果を踏まえ、後日、JAみちのく村山本店にて面接試験を実施します。また、面接試験日等は、第1次試験合格者に直接連絡いたします。
6. 待遇等
(1)採用時期/平成30年4月1日
(2)処遇/正職員
※6ヵ月間の試用期間有(給与条件等変更無)
(3)勤務場所/JAみちのく村山管内(村山市・尾花沢市・大石田町)
(4)給与等/当組合給与規程の定めるところによります。
(5)健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険等加入いたします。
7. その他
(1)採用決定通知、その他の通知は、直接本人に行います。
(2)年齢制限については、卒業後概ね10年以内とし、新規卒者と併せて同一募集枠で募集します。
(3)提出していただいた書類は、採用業務に関してのみ利用いたします。なお、提出書類については返却いたしませんのでご了承ください。
※不明な点については管理部人事教育課にお問い合わせ下さい。
TEL 0237-55-6311(内線115番) FAX 0237-55-5825

【事故等の場合には】
JA共済事故受付センターまでご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-258-931 24時間 365日 受付

【レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には】
JA共済サポートセンターまでご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-063-931 24時間 365日 受付

各種防除機
早期予約受付中
背負動力噴霧機
SHRE175G 丸山 MS3900D-15
最寄りの農機センターまでお問い合わせください。
株式会社 みちのくサービス
村山農機センター TEL 55-6130
尾花沢農機センター TEL 22-0088
大石田事業所 TEL 35-3793

船旅の楽しさ・喜びを体験！
美食の船 にっぽん丸で行く
ベストシーズンの北海道東クルーズ3日間(酒田港発着)
●船内にてイベントや施設をお楽しみ下さい
●北海道では自由行動またはオプションツアー(別途有料)をご用意
◆旅行日時/平成29年7月8日(土)～10日(月)
◆募集人員/350名様(最少催行人員:250名)
◆食事/朝食2回、昼食3回、夕食2回
◆添乗員/同行します。
◆募集締切/平成29年6月9日(金)
◆申込金/30,000円(旅行代金に充当)
詳しくは、旅行センターへお気軽にお問い合わせ下さい
☎0237-55-6314